

関西電力黒部鉄道の車輛 762mm軌間

関西電力の黒部鉄道は富山地方鉄道黒部線の終点宇奈月から樺平に至る762mm(2'6")軌間の小鉄道である。1937年に専用軌道として開通、電源開発工事のため使用されたが、1953年からは地方鉄道に改められて再出発し、観光用としても大いに活躍するようになった。
 主力をなすロコは小型BB凸電で、黒部鉄道を強く印象づけるもの。
 ここに示した車輛は1956年ナニワ工機で製造したグループで、ロコは11号機、左の貴賓車のシートには藤椅子を使っている。

